



松枯れ跡地への植樹(平成17年3月)



生きもの観察の場となった植樹地(平成20年7月)

NPO法人つくば環境フォーラムは、「自然と人との共存」をテーマに、豊かな自然のあるまちを未来の子どもたちへ引き継ぐため、平成13年に設立され、里山保全活動・環境教育活動を展開しています。つくばエクスプレスの沿線開発が進むつくば市で、平地林や筑波山麓の森づくりを進め、自然を活かしたまちづくりを多方面に提案しています。

### 国蝶の棲む里山を未来へ

つくば環境フォーラムがまず取り組んだのが、国蝶オオムラサキの棲む里山づくりです。つくばエクスプレスの沿線開発で、オオムラサキが生息していた平地林が消失した

ため、そこにいた蝶を保護し、地元の小学校と連携して飼育する一方、開発後も残る森林を手入れしてオオムラサキをはじめ多様な生物の棲みかとするための「森づくりボランティア」を始めました。

フィールドとしたつくば市下平塚には、手入れ不足の雑

木林やヒノキ林、マツが枯れてしまった林など20ha以上が広がっていました。このうちの一部で地権者と協定を結び、平成15年から始めた整備は今年3月まで65回のボランティア活動として実施し、参加者はのべ1680人にのぼりました。平成17年のマツ枯れ跡地の整備には、子どもたちも参加して、ドングリから育てたクヌギ・コナラやオオムラサキの食樹になるエノキなど、700本の苗を植えました。今では背丈以上に育った林に、野草が咲き、昆虫が集まるようになりました。

この森では、「里山こどもワンダーランド作戦」と名づけた子どもたちの自然体験活動を毎年実施しており、自然観察やキャンプ、森の手入れ体験基地づくりなどに取り組んでいます。

## 筑波山麓での森づくり



オオムラサキ飼育舎の前で授業

筑波山麓の里山林は、手入れされずに長年放置され、そこをねぐらとするイノシシが増え、周辺一帯では深刻な農業被害が広がっています。つくば市より受託した筑波山麓の地域資源活用事業において、地元の方々とワークショップや「お宝発見！マップ」づくりに取り組んだことが縁となり、平成18年よりつくば市神郡(かみごおり)の谷津田を借り受け、里山の再生に取り組みることになりました。耕作者がいない山あいの田んぼとその周辺の山林約2haを一体的に整備しています。放置されて大きくならずすぎた雑木林では一部を伐採し、萌芽による再

生を図ることで雑木林の若返りと生物多様性の保全をめざしています。密生している竹林では、枯れ竹の処理や適正密度への間伐に取り組んでいます。

## 森林資源の活用を

手入れによって出た木材を有効活用することで持続的な森林整備が進むことを目指して様々な試みをしています。伐採した雑木を薪ストーブ用の薪に活用することで森づくりを進めるため、薪ストーブ愛好家に呼びかけて「つくば薪クラブ」を設立しました。労力に応じて薪が配分される仕組みを取り入れたところ、若い世代の参加も増え、今では同クラブは独立して森づくりの頼もしい助っ人になっています。また、ヒノキの間伐材でベンチを作り地元住民のウォーキングコースに設置したり、竹をチップにして防草材に活用したり、竹垣づくり講習会を開いたり、様々な人が様々な森づくりに参加できるように工夫し、呼びかけを行っています。

## 都市と農村を結び里山づくり

つくば市の中心部、研究学園都市には、全国から移り住んだ若い世代の住民がたくさんいますが、周辺の農村部では高齢化が進み、田畑や山林の管理に人手が足りません。NPOがつなぎ役をかってすることで、新たな人々との交流が生まれ、双方にとってメリットのある関係ができるよう取り組んでいます。つくばで育つ子どもたちにとっては、つくばが「ふるさと」、周辺部にある素晴らしい里山という資源を地元の方々とともに守り育てることで、新しい世代に引き継ぐことが可能となるでしょう。耕作放棄地を整備して、地元住民とともにコナラ・ヤマザクラなどの苗木を植えた今年3月の植樹祭には、学園都市からも多くの参加者がありました。多様な人が集い、多様な生きものと出会う里山が、子どもたちの心につながるさとの景色となって残るよう活動の場を提供していきます。



「つくば薪クラブ」のメンバー



竹林整備 間伐とチップ化作業

地元住民と植樹祭を開催(平成22年3月)

## つくば環境フォーラム

- 会員数 237人(平成22年5月現在)
- 森づくり活動フィールド 茨城県つくば市 下平塚地区、同 神郡地区
- 活動日 年間計画による(下平塚地区は基本的に第4土曜日)
- ホームページ <http://www12.ocn.ne.jp/~tef298/>
- 受賞 平成22年1月田園自然再生コンクール「オーライ!ニッポン賞」  
※平成21年6月全国植樹祭にて代表田中ひとみが緑化功労者(林野庁長官賞)表彰